

## 授業科目

## 救急救命処置概論

担当教員名 山内 一	対象学年	2	対象学科	救急
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

## 授業の概要

救急救命士が行う処置は、理論的な観察・評価に裏付けされていなければならない。そのためには、系統立てた活動展開の理解のもとで、さまざまな情報、傷病者の所見から病態を推測する能力が必要となる。本科目では、現場での活動概念を理解する為に病院前医療体制、ストレスに対するマネージメント、感染対策、観察の基本事項を専門基礎科目で学んだ内容と関連づけて学習する。

## 授業の目的

救急救命士として必要な現場での活動概念を理解する。

## 学習目標

1. どのようなシステムの中で救急救命士が活動を行っているのかを理解する。
2. 他機関との連携について理解する。
3. 安全管理、リスクマネージメントについて理解する。
4. 観察における基本的概念および事項を理解する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	病院前医療体制(1)	講義	山内 一
2	病院前医療体制(2)	講義	山内 一
3	安全管理と事故対応(1)	講義	山内 一
4	安全管理と事故対応(2)	講義	山内 一
5	感染対策(1)	講義	山内 一
6	感染対策(2)	講義	山内 一
7	感染対策(3)	講義	山内 一
8	ストレスに対するマネージメント(1)	講義	山内 一
9	ストレスに対するマネージメント(2)	講義	山内 一
10	観察の目的と意義(1)	講義	山内 一
11	観察の目的と意義(2)	講義	山内 一
12	観察から評価に至る思考(1)	講義	山内 一
13	観察から評価に至る思考(2)	講義	山内 一
14	観察から評価に至る思考(3)	講義	山内 一
15	救急救命処置概論まとめ	講義	山内 一

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 上巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	10,584円	他科目と共通で使用 する。
	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	10,584円	他科目と共通で使用 する。
参考書						
その他の資料						

## 評価方法

- 1.筆記試験（100%）。
- 2.必要に応じてレポートを課す。期限内にレポート提出ができない場合は評価点より減点する。
- 3.筆記試験が不合格の場合は1回のみ再試験を行なう。

#### **履修上の留意点**

以下に挙げる場合は、科目試験の判定を放棄したものとみなす。

- 1.1～14回のうち5回以上の欠席がある場合。
- 2.授業態度不良と判断された場合。

#### **オフィスアワー・連絡先**

授業開始時に担当教員より連絡する。